

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
麦の刈り入れ、稲の植えつけ、梅雨がくればもう夏は目の前。いかがお過ごし
ですか。私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 きゅうしょくカンガルー！奈良市地域懇談会報告

■ 1 ■ きゅうしょくカンガルー！奈良市地域懇談会報告

大和郡山市で「玉ねぎプロジェクト」がはじまって1年半。地道な取り組みと
着実な成果を間近で見せていただく中で、奈良市でも何かはじめたい！という人
たち（の一部）で集まって懇談会を行いました。今回はその様子をお伝えします。

集まってくださったのは、農家さん、こどものいるお母さん、市議会議員さん、
そしてきゅうしょくカンガルーメンバーの11名。まずは私たちの先をゆく、大
和郡山の活動紹介をお聞きしたあと、自己紹介を兼ねて、こんな給食を実現した
い、こんな活動がしてみたいという夢や思いを出し合いました。

子どもたちに旬のもの、地元のものをお腹いっぱい食べさせたいという農家の
思い。地元の、顔の見える関係の中でできたものを食べさせたい、できるだけ
安全なものを食べさせたいという母の思い。幼稚園や小学校、中学校でも土や植
物に触れる時間が必要ではないか。学校園で子どもたち自身がつくった野菜が給
食に使われたらどんなに素敵だろう。そんな中から、農って面白いと感じて、将
来農業を生業にする子が出てきてほしい・・・。

また、エディブル・スクールヤードという活動も紹介されました。エディブル
・スクールヤードとは、「食べられる校庭」とも訳される、子どもたちが野菜を育

て、調理し、みんなで一緒に食べる食育菜園プロジェクトのことです。1994年にアメリカの中学校で始まり、荒れていた子どもたちの関係が大きく改善されるなど注目を集め、全米はじめ世界中に広まっているプロジェクトです。作物を育て、食し、残さを再び土に返すことで自然の循環を身近に感じたり、理科や算数の授業と統合して学習することで理解が深まったり、「食育」を大きく捉えることで成果を上げているそうです。

奈良市は学校の数が多く、地場産使用率を上げようとしても、材料の安定供給と各学校への運搬がネックとなっています。まずはモデル校から始めるとか、品目を限定して始めるなど「小さく始める」ことが現実的です。しかし、ゆくゆくは市内をいくつかのブロックに分けてそれぞれで献立を立てるとか、野菜の下処理をする加工場を作ってそこで1次加工（皮をむいたり切ったり）した上で各校に配達するとか、そういう仕組みを整えられたら地場産使用率は飛躍的に向上するでしょう。さらに将来には、学校ごとの献立で、自分たちで育てた野菜を使って給食をつくることができれば最高ですね。

夢は広がりますが、行政に働きかけて・・・、学校に働きかけて・・・というよりもまず、ここにいる農家とお母さんたち自分たちでできることからはじめたい、小さくてもまず1歩を踏みだそうということで、畑を借りて何か1つでも植えて育てながら、給食について考える場をつくらうということになりました。

子どもたちに土に触れてほしいという思いもありますが、それ以前にお母さん自身があまり土に触ったことのない人も多いです。土に触れてみよう。野菜を育ててみよう。そして、味噌や干し芋のような身近な加工品を作ってみよう。そんな活動の中から、おいしい給食や本物の食育について考える仲間を増やして、夢を実現していきたいです。今後月に1回くらいの頻度で集まりを予定していますので、興味のある方はぜひご連絡ください。日程が決まり次第、個別にお知らせさせていただきます。

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元：きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）

E-mail：oishiikyusyoku@gmail.com

facebook：<https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

（メルマガのバックナンバーも順次掲載しています）

事務局：生活協同組合コープ自然派奈良内（奈良市今市町40-1）
